

当社は、1941年の創業以来カーボン製造のパイオニアそしてリーダーとしての地位を築き上げてきました。その歴史の中でも『高密度等方性黒鉛の製造技術の確立』は、社会の発展に多大な貢献を果たしました。

高密度等方性黒鉛の特徴は、不活性雰囲気下では200℃以上の超高温域でも使用することができ、軽量で電気伝導性や耐薬品性にも優れていることです。それらの特徴を生かし「電気分野」「一般産業機械分野」「エレクトロニクス分野」「先端分野」「輸送分野」と幅広い分野で使用されています。とくに「エレクトロニクス分野」では、シリコンウエハー、太陽電池を製造する工程の多くの部材として使用されています。又、小惑星探査機「はやぶさ」更にその後継機「はやぶさ2」の心臓部となるイオンエンジン用グリッドとして当社のC/Cコンポジット材も採用されています。身近なところでは、電車のパンタグラフに取り付けられているスライダーと呼ばれる集電材にも使用されており架線の摩耗を大幅に軽減することに役立っています。また掃除機、洗濯機、電動工具等のモーターに組み込まれているカーボンブラシは、電気伝導性、耐摩耗性に優れており、モーターの回転体に接触し、しゅう動しながら電気を供給する役割を担っています。これらを製造する工場が香川県

に3拠点あり800名あまりで日々カーボンを製造加工しております。

当社の安全への取り組みは、『何よりも安全は最優先』を基本とした安全衛生活動を展開することにより全社員が安全で安心して働ける職場を目指して日々努力しております。クレーンやフォークリフトを使用した作業では、ひとたび災害が発生すると重大な災害に繋がります。これらの災害を防止するために毎月開催する環境安全衛生委員会を中心に、各部署で活動実績を記録する『安全活動シート』をはじめ、『ヒヤリハット報告』『リスクアセスメントシート』『定常・非定常作業チェックシート』を活用して職場に潜む危険の芽を社員全員で見出し、摘み取る活動を強化しています。特に工場では7S活動（当社独自の5S活動＋選択・節約）により不要物の撤去や危険箇所の見える化を推進しています。朝礼ではKYを実施し、危険ポイントを具体的に認識し、今日一日安全に仕事ができるように取り組んでいます。この日々の積み重ねが一月、一年間の無災害に繋がっています。

最後に今後も全員参加による安全衛生活動を推進し、快適で安全な災害の無い職場を継続できるよう努力して参ります。